

**【2026年千葉県公立入試 直前対策】(2026.01.20)****最難関中学入試から読み解く「時事・重要テーマ」最終チェック～その1**

中学入試（特に難関校）の問題は、その年の社会情勢を色濃く反映しており、直後に行われる「高校入試」のトレンドを先取りする傾向にあります。2026年1月に実施された**栄東・海陽・浦和明の星・西大和学園**の入試問題を分析し、千葉県公立入試（および私立上位）で出題が予想される「最重要テーマ」を厳選しました。

このシートにある用語と数字は、**「書ける・言える・説明できる」**状態にしておきましょう。

1. 【公民・日本史】新紙幣発行と「近代の偉人」

2024年7月の新紙幣発行に関連し、肖像となった3名の功績は必須知識です。単なる名前の暗記だけでなく、彼らが活躍した「分野」とセットで覚えましょう。

- **北里柴三郎**（千円札）：破傷風の血清療法、伝染病研究所の設立。「近代日本医学の父」。
 - 出題実績：栄東（選択肢）
- **津田梅子**（五千円札）：岩倉使節団に同行（最年少女子留学生）、女子英学塾（現・津田塾大学）。「女子教育」の先駆者。
- **渋沢栄一**（一万円札）：第一国立銀行、富岡製糸場の設立に関与。「日本資本主義の父」。

2. 【公民・資料】「少子化」の最新数値をアップデートせよ

教科書や少し前の資料集にあるデータは古くなっています。入試では、以下の「衝撃的な最新数値」が前提として問われます。

- **合計特殊出生率：1.20**（2023年・過去最低）
 - 出題実績：西大和学園
 - ※「1.26」は過去の数値です。「1.20」で上書きしてください。
- **年間出生数：約72万人**（72万7288人）
 - 出題実績：西大和学園
 - ※「80万人割れ」どころか、一気に70万人台前半まで減少しています。
- **人口減少の論述ポイント**
 - 「なぜ出生率が多少改善しても、すぐに出生数は増えないのか？」
 - 解答例：「親になる世代の人口そのものが減少しているため（少子化の連鎖）。」
 - 出題実績：栄東

3. 【地理・時事】交通網のアップデート（2024年問題）

地図問題や並べ替え問題で狙われる「最新の鉄道網」です。

- **北陸新幹線：金沢－敦賀**（つるが・福井県）間が開業（2024年3月）
 - 出題実績：浦和明の星（開業順並べ替え）
 - 地図帳で「敦賀」の位置を必ず確認すること。
- **西九州新幹線：武雄温泉－長崎**（2022年開業）。日本一短い新幹線。

4. 【公民・政治】選挙と地方自治の「今」

教科書の太字用語だけでなく、制度の「課題」や「背景」まで問われるのが近年の傾向です。

① 選挙制度と「80周年」

- 女性参政権 80周年
 - 1946年（昭和21年）、戦後初の衆議院議員総選挙で、日本で初めて女性が参政権を行使しました。2026年はそれからちょうど80年の節目です。
 - 出題実績：浦和明の星
- 合区（ごうく）と一票の格差
 - 参議院選挙選挙において、「一票の格差」を是正するために導入。
 - 対象ペア：「鳥取・島根」「徳島・高知」。
 - 出題実績：西大和学園
- 期日前投票（きじつまえとうひょう）
 - 投票率向上のための施策。漢字の書き間違い（前・全など）に注意。
 - 出題実績：西大和学園

② 地方自治の課題

- ふるさと納税の課題
 - 仕組み：住民税の「流出」と、自治体間の「返礼品競争」の過熱。
 - 本来の行政サービスに使う財源が圧迫される問題点が問われやすい。
 - 出題実績：海陽中等教育
- 未来のまちづくり（Society 5.0）
 - 自動運転バスや配送ロボットの活用（高齢者の移動支援、人手不足解消）。
 - 出題実績：海陽中等教育（トヨタ「ウーブン・シティ」を題材とした記述）

5. 【経済】物価高と暮らし

- 円安の影響：輸入価格の上昇 → エネルギー・食料品価格の高騰。
- 累進課税（るいしんかぜい）：所得が高いほど税率が高くなる仕組み。所得の再分配（格差是正）機能を持つ。消費税（逆進性）との対比で頻出。
 - 出題実績：浦和明の星